

南有馬中学校の生徒の皆さんが 南島原市議会を傍聴



議会を傍聴する南有馬中学校の生徒たち（傍聴席側からの様子）

南有馬中学校3年生の生徒31名の皆さんが、12月3日（木）に、市議会一般質問を傍聴されました。

今回、社会科学習の一環で、地域に根ざしたものとして、議会で議論される様子を生徒が直接傍聴することで、より深く学び、また、2年後に選挙権をもつ3年生への主権者教育を充実させ、地域の活性化について考える視点を持たせることを目的に実施をされました。

担任の先生に引率された生徒たちは、緊張した面持ちで議場に入場し、傍聴席から初め



て見る市議会の議場の中で響き渡る発言者の声に耳を傾けながら真剣なまなざしで傍聴していました。

生徒の皆さんの生活に一番近い内容を議論する場である南島原市議会が、どのような場所で、どのようなことを話し合われているのか、実際に、議会を傍聴したことで、生徒たちは、議会の役割を学び、自分たちの住む地域のまちづくりについて、考える大切な機会になったのではないのでしょうか。

今回の傍聴をきっかけに、南島原市議会や南島原市の市政に興味を持っていただければと思います。



議会を傍聴する南有馬中学校の生徒たち（執行部席側からの様子）